菊川市内地区説明会参加者用問い合わせフォームに寄せられたご質問・ご意見と当社からの回答

※いただいた質問の中から不適切事案に関する質問に対して回答しています。

ご質問ありがとうございました。

	ご質問	当社からの回答
1	耐震性の評価の流れについて、改造工事用地震動により既存設備の補強・設備の設置をしているからプラント施設の審査には合格するような記載になっているが、国の新規制基準の策定以前に改造工事用地震動が作られている。この基準地震動より厳しい地震動になっているのか証明できているのか。これが基準地震動より厳しいのであれば、基準地震動を偽装する必要はなかったはずです。	改造工事用地震動は、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、内閣府の南海トラフ巨大地震モデル（M9）を基に、当社が自主的に設定した地震動です。改造工事用地震動を用いて、発電所の主な施設の耐震安全性の確認・補強等を実施しました。新規制基準に則り、策定した基準地震動に対しては改めて施設の耐震安全性評価を行う予定でしたが、今回、基準地震動の策定過程において不適切な事案がありました。
2	5 号機が、他の号機に比べてガルが大きいのは、どうしてでしょうか？ （2026年5月25日追記）	過去の地震における観測結果から、5号機周辺では、地震動を増幅させる地下構造があることが確認されています。 詳細は下記当社Webサイトをご覧ください。 中部電力Webサイト